

平成19年第7回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成19年7月10日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成19年7月10日	開会 1時30分 閉会 2時03分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員 長 伊東 浄堯 委員長職務 代理者 亙理千鶴子 委 員 菊地 邦夫	委 員 伊藤 恒子 教 育 長 谷垣十四雄	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 本多 龍雄 生涯学習部長 石川 明 庶務課長 北村 高 学務課長 福田 協司 指導室長 富士道正尋 指導主事 風見 由起夫 指導主事 浜田 真二	生涯学習課長 伊藤 信之 兼生涯学習係長事務取扱 スポーツ振興課長 林 文男 図書館長 田中 肇 公民館長 中嶋 登 庶務課長補佐 淀川 章 兼庶務係長	
調 製	主 任 山内 和子		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第 16 号	小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについて
第 3	報 告 事 項	1 平成 19 年第 2 回小金井市議会定例会の結果について 2 小・中学校における麻しん流行に対する緊急対策について 3 ノロウィルスに関する対応について 4 不登校児童・生徒の人数調べについて 5 平成 18 年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について 6 海の移動教室について 7 第 9 回青少年議会の開催について 8 東京農工大学小金井図書館との共同事業について 9 蔵書点検の結果について 10 デイジー編集初心者講習会の結果について 11 シニア世代のための地域参加講座（春期）の結果について 12 その他 13 今後の日程について

伊東委員長 ただいまから、平成19年第7回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、菊地委員と伊藤委員にお願いする。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊東委員長 日程第2、議案第16号、小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについてを議題とする。提案理由について説明をお願いする。

谷垣教育長 提案理由についてご説明する。第19期小金井市公民館企画実行委員(成人教育・文化活動部門)に欠員が生じ、追加委嘱する必要があるため、本案を提出するものである。

細部については公民館長から説明する。よろしくご審議の上、ご同意賜るようお願いする。

中嶋公民館長 議案書、次の別紙に同意を求める候補者6人の名簿を添えているが、緑分館のお二人は立候補でなく、推薦団体であるので、お配りしている別紙に差し替え方、よろしく願います。

今後、このようなことがないように十分に注意することとする。

今回、補充を必要とする6人については、市報5月15日号で募集をし、5月29日に説明会を本館で実施、6月19日の候補者調整会に補充を必要とする6人の候補者の出席を得て、候補者による話し合いの結果、本館2人、貫井南分館1人、東分館1人、緑分館2人の候補者6人が別紙のとおり決まった。

補充した委員の概要についてである。資料2の小金井市公民館企画実行委員選出要綱第2条に基づき、その補充する実行委員の任期は前任者の残任期間となるので、平成20年7月20日となる。候補者6人の性別については、男性3人、女性3人である。平均年齢は65歳、男性平均66歳、女性平均64歳、最高年齢は男性で78歳、最少年齢は女性で59歳。立候補は4人、推薦団体は2人となる。

次に、今回の6人を含めた全館30人の概要についてである。委員構成は、男性15人、女性15人となる。平均年齢は64歳、男性平均67歳、女性平均61歳、最高年齢は女性の79歳、最少年齢は女性の39歳で、新任は25人、再任は2期が5人である。また、立候補は25人で、推薦団体は5人となる。

以上、雑駁ではあるが、ご説明とさせていただく。何とぞご審議の上、ご同意賜るようよろしくお願いする。

伊東委員長 　　ただいま事務局の説明が終わった。何かご質問、ご意見はあるか。別にないようである。

それでは、お諮りする。小金井市公民館企画実行委員の選任に関し同意を求めることについては、原案どおり同意することにご異議ないか。

(委員一同異議なしの声)

伊東委員長 　　異議なしと認める。本案は原案どおり可決とした。

日程第3、報告事項に移る。順次、担当から報告を求める。

本多学校
教育部長 　　報告事項1、平成19年第2回小金井市議会定例会の結果について報告させていただく。

平成19年第2回市議会定例会は6月1日に開会し、議会最終日は、当初の予定では26日であったが、会期が2日延長され、6月28日に閉会した。

今定例会には、市長提出案件として報告3件のほか、平成19年度補正予算1件、条例の制定1件、条例の一部改正5件、工事請負金額1,000万円以上の契約締結についての報告1件の計11件が提出され、審議された。その結果、提出された案件はすべて原案可決されている。その中には、教育関係では小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例1件が含まれている。

なお、今定例会における一般質問については、6人の議員から通告されている。通告内容について、学校教育関係では、小・中学校の空調設備の拡充やプールの温水シャワーなど教育条件整備の拡充を、また2つ目には、学校・保育園等への侵入者対策はどうなっ

ているのか、3つ目は、地球温暖化の防止に向けた対策を進めるために小・中学校に省エネによる光熱水費節減分還元プログラムの導入を、4番目として、貸与制度を新設した奨学金制度の拡充をということである。生涯学習関係では、市テニスコート内の緑地に専用ゲートボール場を、もう一つは小金井桜について問うというものであった。

質疑の詳細については、資料として配付させていただいている。後ほどお読みいただきたいと思う。

以上で報告を終わる。

伊東委員長

ありがとう。

何かご質問はあるか。

報告事項2、小・中学校における麻しん流行に対する緊急対策について。

福田学務課長

報告事項2をご報告させていただく。小・中学校における麻しん流行に対する緊急対策についてである。

ことは例年になく、麻しんの流行が拡大しており、5月に入り、東京都及び東京都教育庁では緊急対策として、全都立学校においてワクチン接種を実施している。本市の麻しんの罹患状況は、5月17日時点で保育園児1人、学大附属中学校生徒1人、南中学校生徒1人、女子美大生1人と、4人が報告をされている。小金井市立の学校においては、南中学校で5月8日に麻しんと診断された生徒が1人、6月11日に前原小学校で同様に診断された児童が1人出ている。

本市の緊急対策として、都立学校における集団感染の拡大防止策や他の区市における緊急対策にならい、小・中学校児童・生徒への麻しん緊急対策として、市立小・中学校を対象に公費負担による予防接種を行うこととなった。今回の公費負担による予防接種の対象者については、1として麻しんにかかったことがない、2として予防接種が未接種である、3として今回の予防接種を希望する方に限らせていただいた。このような内容で、6月14日に全小・中学校に、全児童・生徒への調査票の配布、またその回収を依頼し、学務課で該当、非該当等を抽出した。それをもって健康課からそれぞれの方へ予診票等、あるいは非該当通知等を自宅に郵送し、6月26

日から8月31日までの間で、市内の麻しん予防接種実施医療機関で予防接種を実施しているところである。

なお、啓発について、7月1日付『市報こがねい』において、麻しん流行の緊急対策を掲載しているところである。

報告を終わる。

伊東委員長 何かあるか。

続いて、報告事項3、ノロウイルスに関する対応についてをよろしく願います。

福田学務課長 続いて、報告事項3、ノロウイルスに関する対応である。

ノロウイルスについては、感染性胃腸炎の主な原因の一つで、感染力が強く、保育園、小・中学校、高齢者施設等々で集団発生を引き起こすことが聞かれている。ノロウイルスについては、主な症状は嘔吐、下痢、腹痛、発熱、潜伏期間は平均1から2日、発症時期が11月から3月にかけて多く発生すると聞いている。この6月に入り、緑小学校で6月4日に1年生に1人の発生があった。その後、6月7日に7人を上限にして、6月19日に発生がゼロとなったものであるが、さらにまた25日で再び2年生、5年生の発生があった。連日、教室、トイレ、給食室等の消毒を継続する中で、7月6日に収束をしている。

また、本町小においても、6月1日に6年生が発生し、翌日12人、翌々日7人、それから13人と発生者が増えてきた。5年生の移動教室が6月11日から予定されていたので、6月8日時点の11人発生ということがあり、宿泊施設への食中毒等の疑いなどの迷惑をかけないためにも、移動教室を延期した次第である。本町小においても、同様に教室、トイレ、給食室等の消毒を継続する中で、6月末に発生者がゼロ人となり、移動教室については7月7日から実施しているところである。

ノロウイルスについて、18年12月に小・中学校14校中9校で嘔吐、下痢、腹痛症状を訴える欠席者が多数出たことがあった。この際に多摩府中保健所からの資料提供を受けて、感染性、胃腸炎、または食中毒の疑いに伴う嘔吐、下痢、腹痛症状の対応についてという通知を作成して、全小・中学校において共通の対応をしてきたところである。しかし、この際の対応内容については、教室、トイ

レ、手洗い等の定期的な消毒ということであり、今回の緑小及び本町小においては、発生者が10名を超しており、さらに給食室への影響を考え、児童の使った食器等は消毒薬、次亜塩素酸ナトリウム溶液に10分以上つけ、洗浄作業に入ることであるとか、残菜については濃い目の同様の消毒薬に10分以上つけ、生ごみ処理機には投入しないで、燃やすごみとして処分するというような形で徹底し、給食室の衛生管理に努めてきた次第である。

学校の教職員、調理員にとってかなり負担をおかけしたかと思うが、全員の協力の中でノロウイルス発生を収束させることができたと考えている次第である。

報告を終わる。

伊東委員長

ありがとう。

何かあるか。いいか。

報告事項4、不登校児童・生徒の人数調べについて、お願いします。

風見指導主事

報告事項4、平成18年不登校児童・生徒の人数調べについて、ご報告する。資料4をごらんいただきたい。

不登校児童・生徒数は、小学校ではほぼ横ばい、中学校ではこれまで減少傾向を示していたが、平成18年度は、生徒数、出現率ともに増加している。これまで登校渋りあるいは不登校傾向を示していた生徒が、平成18年度に不登校となったことが増加の原因と考えられる。今後は不登校傾向の段階で児童・生徒へのきめ細かい適応指導の実施、小・中間の不登校児童・生徒の情報交換の充実、スクールカウンセラー2人配置による教育相談機能の充実に重点を置いて、不登校児童・生徒の減少を目指してまいりたいと思う。

以上である。

伊東委員長

ありがとう。

何かご質問はあるか。

報告事項5、平成18年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について、お願いします。

風見指導主事

報告事項5、平成18年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について、ご報告する。資料5をごらんいただきたい。

この調査は、平成19年1月に小学校5年生、中学校2年生を対象に行われた。調査の趣旨は、児童・生徒1人1人の確かな学力の定着を図ること、各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善、充実に生かすことを目的としている。結果として、平均点は全体に上がってきている。小金井市の児童・生徒も頑張ってきた。小学校、中学校ともに上位に位置している。全般にどれも大変高い正答率となっているが、観点別、単元別に見ると課題が見えてくる。今後はこの調査結果分析をもとに、各小・中学校がさらに検討を加え、学校ごとに授業改善推進プランの見直し、修正を行ってまいる。

以上である。

伊東委員長

ありがとう。
ご感想は何か。

伊藤委員

この分析結果を拝見させていただくと、それぞれ学校が頑張っている様子が見え、大変すばらしいことだと思ったが、今お話があったように、細かな分析を見ると、子どもが取り組む時間が、国語においても、算数においても、社会、理科それぞれ課題へ取り組む、自分で取り組む時間を確保することが大変大切だなということを感じさせていただいた。そういう意味で、今後、そういったことを学校ができるような体制を考えていく必要があるかなと思った。

以上である。

伊東委員長

ほかにあるか。
報告事項6、海の移動教室について、お願いします。

風見指導主事

海の移動教室についてご報告する。

小学校5年生が1学期に行っている鵜原海の移動教室は、本町小学校を除いて8校すべてが無事終了した。延期している本町小学校は、現在移動教室を実施しているところである。8校すべての学校で大きなけがや事故もなく、磯遊びや砂の芸術大会など、ふだんできない経験をすることができた。至楽荘の管理人の方によると、どの小学校の児童もあいさつや礼儀などがしっかりしていて、大変すばらしかったとお褒めの言葉をいただいた。

以上である。

伊東委員長

ありがとう。

よろしいか。

報告事項7、第9回青少年議会の開催について。

浜田指導主事

平成19年8月27日月曜日、13時より小金井市役所本庁舎4階議場において第9回青少年議会を開催する。小金井市立中学校代表生徒、各校2名ずつが代表質問と一般質問をする。

今後の予定であるが、各学校で生徒会が中心となり話し合った内容を7月12日に調整する。8月9日までに質問内容をまとめ、市長に提出し、8月21日までに各部で答弁書を作成していただく予定である。

以上である。

伊東委員長

いいか。

伊藤委員

先日、学校を訪ねさせていただいたときに、校長先生からこの青少年議会で提案したことが実施に移されたことが、大変子どもたちにとってプラスになっているというお話を伺った。そういう意味で、どういう課題が出てくるかわからないが、実施に向けて子どもたちの思いが達せられるような形で進行できたらさらにいいなと思った。

以上である。

伊東委員長

報告事項8、東京農工大学小金井図書館との共同事業について。

田中図書館長

報告事項8についてご報告する。

図書館では平成18年2月19日に、東京農工大学小金井図書館と図書館の利用に係る相互協定を結んでいる。その一環として、共同事業の実施がある。去年はイベント、講演会と子どもインターネット教室を開催した。今年についても、子どもインターネット教室を8月4、5、6日と開催する。内容については検索エンジンのグーグルの使い方やホームページ制作で、図書館からは小金井図書館のウェブ検索のやり方についてお話をする予定である。

以上である。

伊東委員長 もう一つ、報告事項9、蔵書点検の結果についてもお願いします。

田中図書館長 続いて、報告事項9、蔵書点検の結果について報告する。

6月1日から6月11日までの間に図書館本館、1日と2日に西之台会館図書室、3日と4日に移動図書館、そして11日から15日にかけて東分室及び緑分室について蔵書点検を実施した。貸し出しを含む全蔵書が45万8,768冊であったが、うち貸し出しを除いた資料すべてを点検した。点検冊数は39万5,326冊で、貸し出しされていないにもかかわらず、所在が不明な図書は1,848冊であった。不明図書率は0.4%で、前は平成17年に実施したが、全蔵書44万395冊に対し、不明図書2,803冊で、不明図書率0.63%であったので、今回、不明図書率は改善している。

以上である。

伊東委員長 図書館について何かあるか。

報告事項10、デジター編集初心者講習会の結果について。

田中図書館長 報告事項10について報告する。

図書館では、視覚に障害のある方に対して録音図書による提供を実施している。現在ではIT技術の進歩により、CD-ROMに図書情報を収録したデジター図書というものが近年着目されてきている。日本点字図書館においても、2011年度からテープ録音図書を中止して、デジター図書に切りかえていくという方針が出ている。これは1枚のCDに20時間から30時間の収録が可能であり、これまで300ページだと、90分テープで5本ほど必要としていたものが、CD1枚で収録可能となり、またインデックス機能により自分の読みたいページにアクセスすることができるという機能を持っている。

今後、こうしたデジター図書が主流となってくるので、これに向けてデジター編集初心者講習会を6月13日から15日の3日間、10時から15時、この分野のエキスパートであるNPO法人デジタートーキョーさんをお願いし、日ごろから録音朗読に協力をいた

だいている対面朗読の会の会員10人及び図書館のハンデキャップサービス担当職員3名が受講した。内容は、録音テープをパソコンに取り込み、ページつけ等の編集をしてCD化を行った。

来年度については、予算の関係もあるが、直接録音ができるレベルアップ講習と未受講者に対しての同一講習会を実施できればいいなと思っている。

以上である。

伊東委員長

あわせていかがか。いいか。

報告事項11、シニア世代のための地域参加講座（春期）の結果について。

伊藤生涯
学習課長

シニア世代のための地域参加講座の結果についてご報告する。

この事業は、生きがいを持って健康で生き生きと暮らしていただくとともに、地域活動の活性化を目指すものである。昨年までは水曜日の夜7時から実施していたが、今回は土曜日の午後2時から実施している。その結果、昨年よりは参加者数が増え、全8回で合計210名の参加を得ている。平均では26名ということになっている。

秋についても、11月頃を予定している。

以上である。

伊東委員長

いいか。

報告事項12、その他に移る。その他あるか。

林スポーツ
振興課長

総合体育館プール還水槽破損事故についてご報告する。

プールの還水槽というのは、プールのあふれた水あるいはポンプで吸い上げたものを、循環のために、まず還水槽というタンクに通す。そこに通し、ろ過、消毒を通してまたプールに戻すという形を24時間繰り返している。

事故の経過についてご説明する。発生したのが平成19年7月3日火曜日の午後9時55分ごろということになる。まず、9時55分ごろ、雨水槽満水警報というのが発報した。雨水槽というのは体育館の地下に大雨のときなど雨水がたまる槽があるが、そこが満水になったという警報が鳴った。その日は小雨程度は降っていたが、

通常なら発報するような状態の日ではないということで、まずこれが体育館の管理を夜間しているシルバー人材センターのほうから、市役所の管財課の施設管理室のほうへ通報があった。同時に発報が鳴ると管理会社のほうにも行くので、施設管理のほうと管理会社のほうも連絡はとったが、管理会社のほうは急遽体育館のほうへ向かう動きをその時点でした。

ただ、市役所の施設管理のほうが早く体育館に到着したので、プールの還水槽が破損して、そこから雨水槽へ水が流れ込んだために、雨水槽がいっぱいになってあふれ出したと。なおかつ、ポンプで吸い上げるという作業は機械上ずっとしているので、施設管理員が到着したときにはそういう状態で、ポンプで吸い上げたものがずっと流れているという状況であった。それで、午後10時30分ごろビルの管理会社の担当が到着し、プールの水を吸い上げるポンプを止め、引き続き水が流出しているという状況は止めたが、地下の部分がかなり冠水していて、ポンプを数台使い、外へ出すような作業をした。私も連絡を受けて11時過ぎに到着し、日をまたいだ7月4日の午前1時40分ごろまで、応急の措置というか、とりあえず水等の関係で館内に浸水するようなことがないということを確認できたところで退館した。

7月4日、朝から対策等を考える中で、当面、事故の調査等はするわけであるが、プールの営業をどうしようかということで、7月4日については当然プールの水の循環ができないということで休止したが、タンクの補修、修繕が完了するのは当分先になるだろうということで、管理会社、それからプールの運営を委託している業者とも相談して、通常であるとプールの水は容量ぎりぎりまで入っていて、だれかが泳ぐと波が立つから、それがあふれて、還水槽に回るということがあるが、そうすると、還水槽が壊れているので、すべてが雨水槽のほうに入ってまた地下があふれるということがあるので、水位を10センチ程度下げ、営業することにした。

あふれる水はないが、ポンプでやはりくみ上げる形をとるので、同じように循環して消毒して戻すという作業はできている。ただ、通常より水位が低くなっているのも、通常、団体の貸し切りの場合に飛び込み等も許可している場合があるが、飛び込みのほうは遠慮していただくような形で運営している。そういう状態での営業で本日まで営業しており、なおかつ、業者については原因の究明と、あ

と修繕について、費用、期間を含めてどれくらいかかるかというのを今調査していただいている状況である。

簡単であるが、以上である。

伊東委員長 ほかに、その他あるか。

伊藤生涯 ホームページの充実についてお知らせをする。

学習課長 以前より、第二庁舎からの西側の山並みについて山の名前を教え
てほしいなどの質問があった。委員長の後ろのほうに今、写真を飾
ってあるが、ことしの1月30日に撮った写真に、市民の協力を得
て、山の名前を特定し長記した。同じものをホームページに載せて、
自動で動くようにつくっている。6月20日から掲載している。
以上である。

伊東委員長 その他、ほかにあるか。
報告事項13、今後の日程についてをお願いします。

淀川庶務 教育委員会の今後の日程についてご報告する。

課長補佐 7月26日木曜日午後2時から、東京都市教育長会研修会が自治
会館において開催予定である。全委員のご参加をお願いします。8月
14日火曜日午後1時30分から、平成19年第8回教育委員会を
801会議室で開催予定である。続いて、8月24日金曜日午後2
時から、東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会、第1回理事
研修会が東京自治会館で開催予定である。委員長のご出席をお願い
する。8月28日火曜日午後1時30分から、平成19年第9回教
育委員会を801会議室で開催予定である。9月15日土曜日午後
1時から、PTA連合会ビーチボールバレー大会が総合体育館で開
催予定である。全委員のご出席をお願いします。10月9日火曜日午
後1時30分から、平成19年第10回教育委員会を801会議室
で開催予定である。11月13日火曜日午後1時30分から、平成
19年第11回教育委員会を801会議室で開催予定である。
教育委員会の今後の日程については以上である。

伊東委員長 これで報告事項はすべて終わった。
本日の審議はすべて終了した。

これをもって平成19年第7回教育委員会定例会を閉会する。お疲れさまであった。

閉会 午後2時03分